

ひばりが丘の街に和を描く
コミュニティメディア

A'ERU アエル

MACHINI-WA HIBARIGAOKA	vol.
2018	Winter
12	



嬉しくて 心おどる
悲しくて 涙がとまらない
悔しくて こぶしを握る
楽しくて 笑顔があふれる
深く思いつめて 背中をまるくする

人は自分に正直で 感情のその先をさがす
あなたはいつも かわらない
暖かく 厳しく 大きく 静かに
そこにいて
ずっとそこにいて
何も言わずに 人のすべてを許している
美しい夕日を戴冠したあなたと
ふと目が合ったような気がして もう一度見る 見つめあう
それから 深く息を吸う
ああ 新しい年のくる快感と欲望

まちにわ師活動日誌#7 「がんばるママを応援したい」 金井 薫

ひばりが丘の地に住み着いて 12 年。当時 5 歳、2 歳だった子供達もそれぞれ中高生になりました。

それまでの転勤族の「孤育て」で、寂しい思いをした経験から、若いママを応援したい思いで、まちにわ師になりました。これまで、ハンドメイド好きなママ達でイベントを開催したり、ハンドメイド常設展 HACO NIWA の立ち上げのアイデアを出していました。

来年一月からは、同世代の働くママの健康と美容を目的とした、平日夜開催の太極拳クラスを始めます。“ママが元気だと、家庭も明るくなる。”そんな思いで、ひばりテラスでゆるりと活動しています。



イベントプレイバック

これまでの まちにわ ひばりが丘 主催イベント

参加者合計 のべ 4,594 名

気持ち良く晴れた秋の休日、シティテラスひばりが丘の方々のウエルカムパーティーが行われました。新しい仲間をお迎えして、まちにわひばりが丘も喜びにわきました。10月末としては珍しい台風に見舞われた「にわジャム」には雨にもかかわらず沢山の方のご来場。ボランティアキャストが大活躍でした。年末の「おそば会」年始の「もちつき大会」も回を重ね、数多くの住民の皆さんに関わっていただけました。



「街に和」の重要性

近くで暮らす人がどんな人かを知っていると、困ったときに助け合えて、毎日がもっと楽しくなる。



I 暮らしを楽しくする

小さなお子さんのいるご家庭や、ご年配の方の中には、遠くまで出かけるのは大変…と感じている方も多いはず。すぐに歩いていける距離に友人が増えたり、何気ない日常に笑顔が飛び交います。

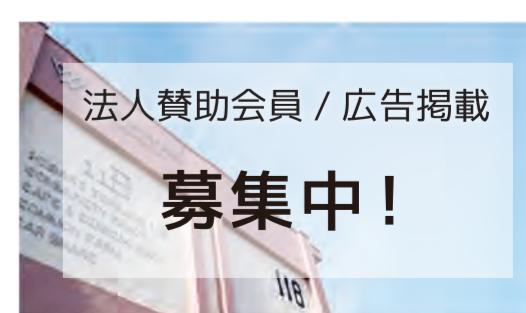
W MACHINI-WA HIBARIGAOKA

発行元：一般社団法人まちにわ ひばりが丘
編集長：田中宏明
制作：岩穴口康次、渡邊篤子、
浅見美沙（以上まちにわ師）
表紙：平田武（写真、まちにわ師）
岩穴口亜紀（詩、まちにわ師）
問合せ：info@machiniwa-hibari.org
WEB：<http://machiniwa-hibari.org>
発行日：2018年2月1日

悩んだとき身近に相談できる人がいて、また周囲からも見守る視点があること。そんな人ととのつながりがあることで、災害、犯罪、孤独な子育て、人の無縁化など多くの社会問題の解決につながります。

メールマガジン無料配信中！ ご登録はこちらから

月2回「まちにわ ひばりが丘」の情報や、イベント情報などをお送りしています。左のQRコードから登録、または、件名を「メールマガジン登録希望」としてinfo@machiniwa-hibari.orgまでご連絡ください。



詳しくはお問い合わせください

